

2班 平和学習成果発表

- ・ 豊科北中学校 小林 拓史
- ・ 穂高西中学校 藤原 ひより
- ・ 明科中学校 鈴木 会
- ・ 三郷中学校 川口 璃響
- ・ 穂高東中学校 三浦 美音
- ・ 堀金中学校 谷村 知夏
- ・ 豊科南中学校 佐藤 羽衣
- ・ 松本大学 平和創造研究会 神部 涼馬

グループの学習テーマ

『戦争と核兵器の過去と今』

▶グループで設定した学習の着眼点

- ①被爆者の遺品や被爆した建物
- ②被爆者の証言
- ③広島平和記念式典に参加してみても
- ④国際社会の現状
- ⑤同じことを繰り返さないために

見学した場所

- ・ 広島平和記念資料館
- ・ 平和記念公園
- ・ 広島平和記念式典
- ・ 全国こども平和サミット
- ・ 被爆体験記朗読会
- ・ 厳島神社

見学の様子



学習の着眼点

①被爆者の遺品や被爆した建物

- ・ 衣服に血が付きボロボロになっていた
- ・ お弁当箱や水筒が熱線により歪んでいた
- ・ 爆風で崩れた原爆ドーム

学習の着眼点

②被爆者の証言

- ・ 原爆で火傷を負った人が水を求めていたが、水を飲むと死んでしまった
- ・ 医療が追いついていなかった
- ・ 原爆が光った瞬間、近くにあった葉っぱが燃えるのではなく溶けていった
- ・ 黒い雨など放射線による後遺症（ガンや白血病など）
- ・ 差別された被爆者

学習の着眼点

③広島平和記念式典に参加してみて

- ・ 約120各国の政府関係者が出席していた
- ・ 式典が始まると会場が静寂に包まれた
- ・ 広島県知事の（核抑止についての）スピーチが印象的だった
- ・ 戦争経験者や被爆者がいない世界が必ず来る
- ・ 参加した誰もが平和を願っていた

学習の着眼点

④ 国際社会の現状

- ・ 世界に核兵器が12,121個あり、すぐ使用できるものは3,904個ある
- ・ ロシアがウクライナ侵攻で核兵器の使用を示唆する発言をしている
- ・ イスラエルとイランの戦争にアメリカが関与し、
ウラン濃縮施設を破壊した
- ・ 中国による台湾有事の可能性
- ・ 核抑止による防衛が重要視されている

学習の着眼点

⑤同じことを繰り返さないために

- ・ 核の悲惨さを未来まで語り継いでいく
- ・ 核の恐ろしさを世界中のいろんな人に
知ってもらうことが重要
- ・ 日本が起こした過ち、核の恐ろしさを被爆者だけでなく
僕らが後世に伝えることが大切

新たに気づいたこと・発見したこと

- ・ 原爆は想像していたよりも恐ろしく、被爆者を救助するために広島市内に入った人も、放射線を浴びて被爆してしまうことは知らなかった。
- ・ 被爆者の方と戦争や原爆を知らない世代の平和に対する思いの差が大きいと感じた。そのため、私たちは経験者の話を聞き考えを深めていくことが大切であると思う。
- ・ 広島平和記念式典で、どの人も日本の未来と核兵器について考えており、他人ごとではないと感じた。

感想

- ・ひとつの原爆によって多くの人が亡くなったり建物が壊れているため、核兵器は無くなるべきだと思いました。（佐藤 羽衣）
- ・広島平和記念資料館の遺品や被爆者の写真を見て、戦争は二度と繰り返してはならないと改めて思いました。（谷村 知夏）
- ・広島平和記念資料館で原爆が投下されて起きた被害を見て、たった一回でも被害が甚大であり、原爆の恐ろしさを身近で感じれた。（藤原 ひより）
- ・広島平和記念式典ではいろいろな人が真剣に日本の未来と戦争について考えていて、私たちも他人ごとではないと感じました。（三浦 美音）
- ・原爆が落ちた広島が、今はこんなに復興していることにとても驚きました。世界情勢が、核抑止力を重視するような風潮の中で、平和をより理解し、考えを深めていきたいです。（鈴木 会）
- ・広島平和記念資料館では、被爆して亡くなってしまった人々の遺品が想像以上に残っていてびっくりしました。（川口 璃響）
- ・広島平和記念式典や遺品などを見て、原子爆弾の恐ろしさを知り、二度と戦争をしてはいけないと思いました。（小林 拓史）

ご清聴ありがとうございました